

令和5年度

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

谷戸第二小学校 6年生

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：  
(活動名)

## 「世界の手助けプロジェクト」

ねらい：

- ・身の回りの外国籍の方々から話を聞いたり、社会科の学習と関連させたりして、世界の人々の困りごとを調べ、整理する。
- ・国語科の学習の時間で話し合いをしながら、課題意識をもって自分たちにできるアクションを計画し、実践することができる。
- ・世界に住む外国の人々や、地域に住む外国の方々の現状と自分たちとの関わりについて気付き、世の中や地域に愛着をもつとともに、自分たちにできることを考え取り組んでいく。

【10月】

西東京市多文化共生センターより、ベトナム人のジェップ先生をお招きして、日本とベトナムの生活の違いや、ベトナムで困ること、日本に来て困っていることについてお話していただきました。ジェップ先生や、友達との話し合いを通して、地域の中にも、外国の方々のために解決できそうなことがたくさんあふれていることに気が付きました。



【10月】

三菱アジア子ども絵日記フェスタや日本ユネスコ連盟より講師の先生をお招きして、西アジア～東南アジア諸国の子どもたちが描いた絵日記の紹介をしてもらいました。日本に住む私たちとは異なった考え方や生活について触れ、価値観の多様性に触れながらも、自分たちで問題を解決したいという課題意識が芽生えました。



生活について触れ、価値観の多様性に触れながらも、自分たちで問題を解決したいという課題意識が芽生えました。

【11月】

募金グループからフリマグループへ

集めたお金 ユニセフに寄付  
 行う場所 ひばりヶ丘駅南口 北口  
 日時 3月7日10時15分～11時(予定)  
 許可 駅 ユニセフ  
 募金箱の用意 ユニセフに借りる

他のチームにアドバイスしてほしいこと  
 駅やユニセフ以外に許可を取ることはあるか



国語科の時間を使って、チーム同士で交流しながら、お互いのプロジェクトをプレゼンしました。異なるプロジェクトの相手に対して、相手意識をもってアドバイスをしたり、相手からのリクエスト問題に答えたりして、ものの見方を広げ、新たな課題を発見できました。

【12月】

話し合いを経て、学級内のチームごとに活動プロジェクトを計画しました。土曜授業でのフリーマーケットチーム、大学と連携してのユネスコ活動貢献チーム、街頭でのユニセフ募金チーム、近隣店舗での不用品回収活動チーム、全校への情報発信チームに分かれて、3学期に実践します。



## まとめ

6年生は、日本の暮らしと世界の暮らしが違うことは、これまでの経験や学習から何となく知ってはいたものの、具体的に理解はしていませんでした。しかし、直接外国の方々の声を耳にすることで、強い課題意識をもつことができました。過去の上級生に倣って行っていた募金、年末の大掃除に出てくる不用品、主体的に取り組まなければ気が付かなかった地域の活動に児童自ら参加しながら、直接的にも間接的にも、自分たちと世界の関わりを実感することができ、貴重な学びの機会となりました。